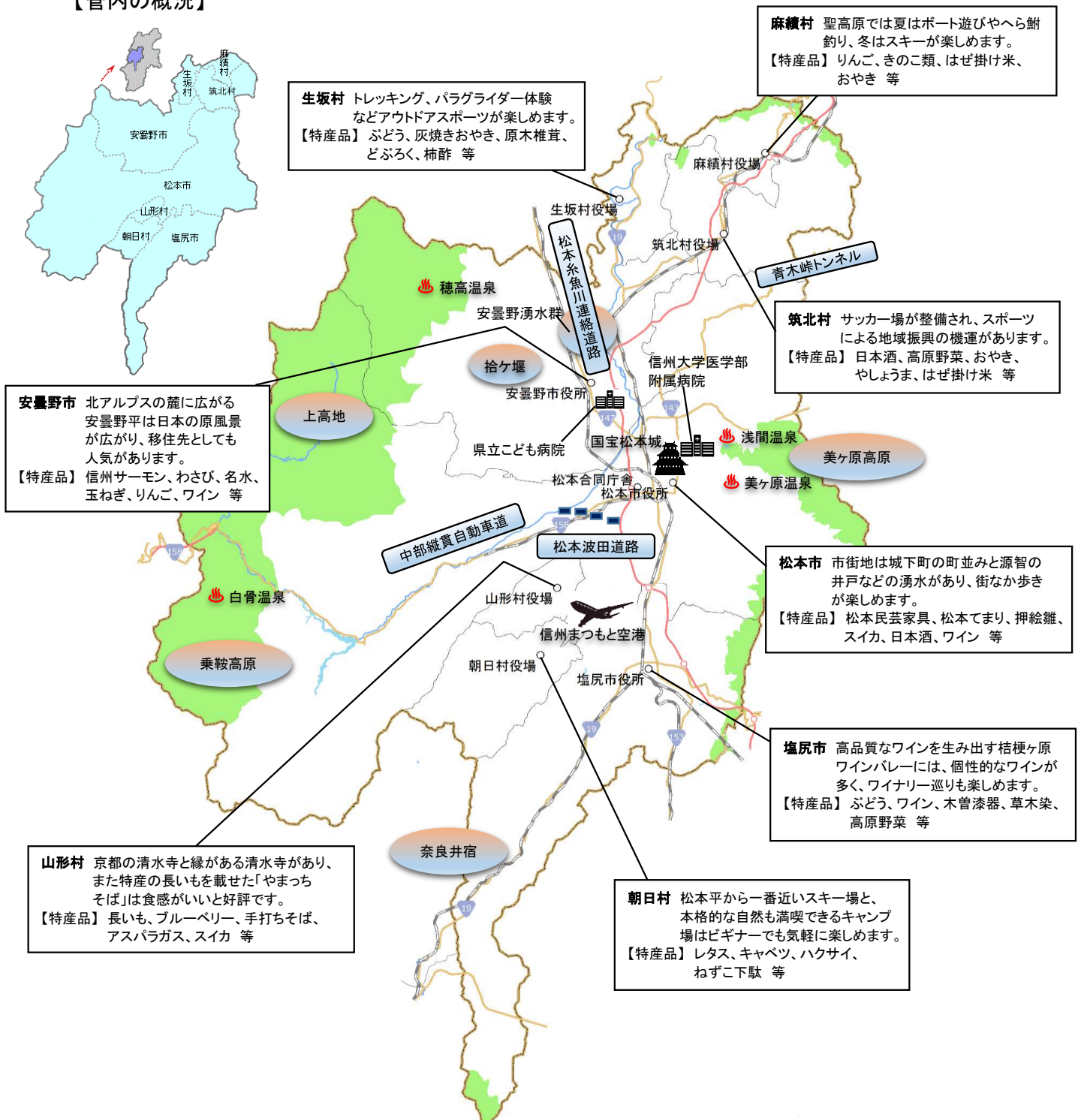


# 松本地域（松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村）

## 松本地域の特性

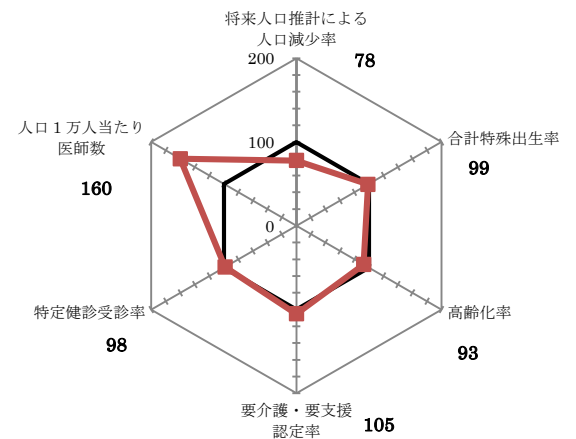
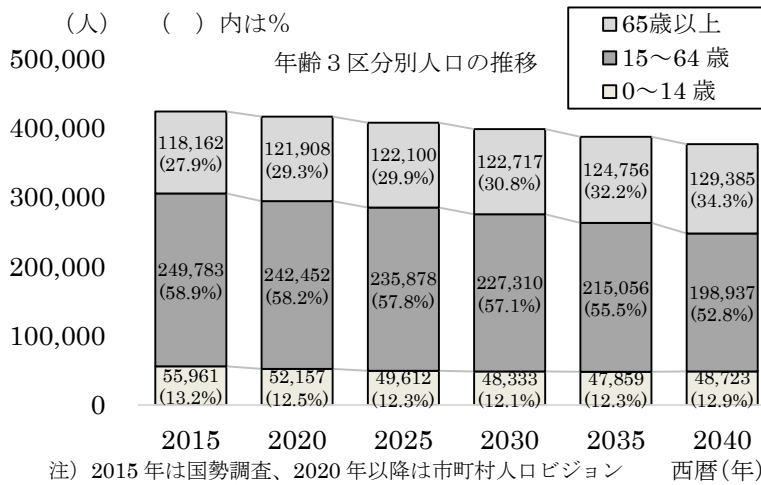
- ・ 県内唯一の空の玄関口である「信州まつもと空港」を有しています。
- ・ 信州大学医学部附属病院、県立こども病院など高度で専門性の高い医療機関を有し、また、健康
  - ・ 医療関連産業と連携可能な研究教育機関が存在しています。
- ・ 大規模地震の発生確率が全国主要活断層の中で最大である、糸魚川静岡構造線断層帯が存しています。
- ・ 市村間で、特に人口の増減の差が大きくなっています。

## 【管内の概況】



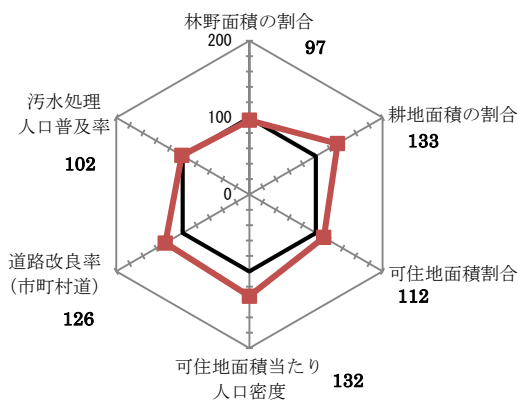
## 【人口】

松本地域の人口の推移

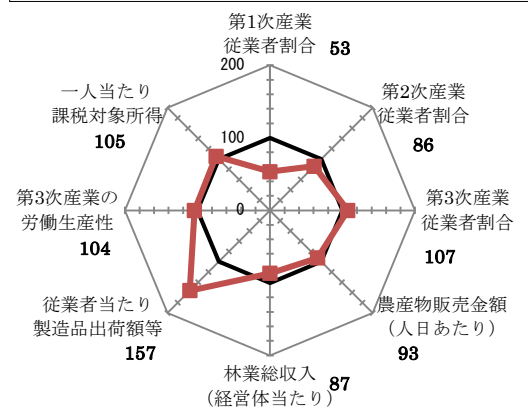


人口推移・人口減少率：国勢調査、平成25年3月推計 日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)、管内市町村の人口ビジョン、合計特殊出生率：平成20年～平成24年人口動態保健所・市区町村別統計(厚生労働省)と2010年国勢調査の15～49歳の女性人口を基に算出、高齢化率：平成27年国勢調査、要介護・要支援認定率：平成27年介護保険事業状況報告(厚生労働省)、特定健診受診率：特定健康診査に係る健診データの市町村別集計(長野県国民健康保険団体連合会・全国健康保険協会長野支部)、人口1万人当たり医師数：平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査結果(厚生労働省)

## 【地勢・産業】



注) 各指標は長野県全体を100として松本地域と比較(指数)



総面積：国土地理院、林野面積の割合：平成27年農林業センサス(農林水産省)、耕地面積の割合：耕地及び作付面積調査(農林水産省)、可住地面積割合：「統計で見る市町村の姿2016」(総務省統計局)、可住地面積当たり人口密度：平成27年国勢調査人口/可住地面積、道路改良率(市町村道)：平成27年度道路現況(建設部調)、污水处理人口普及率：平成27年度環境部調

第1・2・3次産業従業者割合：RESAS(平成26年経済センサス-事業所に関する集計)、人日あたり農産物販売金額：RESAS(平成22年農林業センサス)、経営体当たり林業総収入：RESAS(平成22年農林業センサス)、従業者当たり製造品出荷額等：平成28年経済センサス-活動調査、第3次産業の労働生産性：RESAS(平成24年経済センサス-活動調査)、一人当たり課税対象所得：平成28年度市町村税課税状況等の調(総務省)

## 地域のめざす姿

美しい信州の中心に世界の人々が集い、賑わいあふれ、住みやすい松本地域を目指します

県内唯一の空の玄関口である信州まつもと空港を有するという特性を活かし、世界水準の山岳高原リゾートに向けた観光地域づくりを行います。

また、一層健康で長生きできる地域とするための取組を行うとともに、想定される大規模地震に対する備えの充実を図るなど、地域の全ての住民が安全・安心で豊かさを実感できる地域づくりを行います。

## 地域重点政策

### 1 信州まつもと空港を活かした観光振興

#### 【背景】

県内唯一の空の玄関口である信州まつもと空港に対する地域の期待は非常に大きく、「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」を実現するため、地元住民の理解を得て、空港を活かした広域的な観光地域づくりを進めていきます。

#### 【取組内容】

##### ● 滞在型の周遊観光対策

- ・ 国宝松本城、安曇野湧水群、拾ヶ堰、ワインなど我が国を代表する観光資源等を活かした、滞在型の周遊観光ルートを創出します。その際、高山、白川郷、立山黒部アルペンルートなど他圏域の観光資源と連携して、山岳高原観光地として一層の魅力向上を図ります。
- ・ 空港を利用しやすくするため、二次交通の適切な方向性について、市村、観光団体その他関係者と協議を進めます。
- ・ 広域観光に資するため、中部縦貫自動車道の整備を促進するとともに、松本糸魚川連絡道路、国道 143 号青木峠トンネル、国道 158 号などの調査検討・整備を進めます。

##### ● 車利用者の増加を見据えた対応

- ・ 空港利用者の増加に対応できるよう、空港施設の機能拡充を行うとともに、地元住民の安全性も考慮して、周辺道路の歩道等の整備を行います。

● 賑わいの創出

- ・空港周辺の環境改善の取組として、地元とのアダプト\*協定等による植栽や除草活動を支援します。
- ・松本平広域公園が 2019 年に開催される第 36 回全国都市緑化信州フェアの主会場となるため、その賑わいが一過性のものとならないよう、飲食店の設置などについて検討を進めます。

【達成目標】

指標名	現状	目標	備考
観光消費額 観光地利用者統計調査（観光部）	353 億円 (2016 年)		管内の観光地内で観光旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計
延宿泊客数 観光地利用者統計調査（観光部）	3,048 千人 (2016 年)		管内観光地の延べ宿泊客数

2 産学官金連携等による健康長寿の取組

【背景】

当地域は、住民・団体などが健康増進に熱心に取り組んでおり、信州大学医学部附属病院、県立こども病院などの高度で専門性の高い医療機関及び健康・医療関連産業と連携可能な信州大学、松本歯科大学、松本大学などの研究教育機関が存在しています。そうした地域の特長を活かし、健康長寿の取組を発展させていきます。

【取組内容】

● 関連産業の振興

- ・信州型次世代産業クラスターバレー\*の形成を目指す取組として、産学官金連携により、住民参加型の健康・医療関連産業の集積を進めます。

● 健康増進の取組

- ・松本大学、市村、関係団体などと連携して、健康に配慮した食に関する取組の推進、幅広い年齢層の住民がスポーツを通じて健康長寿を実現するための取組を推進します。
- ・特定健康診査の受診率向上に向けた市村の体制づくり及び企業が従業員の健康増進を図る取組を支援します。

● 産科医療体制の維持

- ・医師会、信州大学、医療関係機関、市村などで構成する「松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会」により、関係機関が連携した産科医療体制確保の取組を支援します。

### 【達成目標】

指 標 名	現 状	目 標	備 考
特定健康診査受診率 (健康福祉部調)	48.2% (2014年度)		協会けんぽ、国保における特定健康診査対象者数に占める受診者数の割合
分娩数と出生数の比率 分娩数(健康福祉部調)、出生数(人口動態調査)	109.2% (2015年度)		出生数に対する管内産科医療機関の分娩取扱数の比率

## 3 地震防災対策の充実強化

### 【背景】

当地域に存在する牛伏寺断層を含む糸魚川静岡構造線断層帯は、30年以内にM7.6程度の地震発生確率が13～30%と全国主要活断層の中で最大であり、地震防災対策が喫緊の課題となっています。

### 【取組内容】

- 大規模災害に備えた行政の体制整備
  - ・震度7規模の地震を想定した合同庁舎の耐震補強及び防災機能の強化工事を実施し、大規模地震発生時の災害拠点施設としての機能を確保します。
  - ・長野県広域受援計画を踏まえ、管内市村と設置した松本地域大規模地震対策連絡協議会において、市村の避難所の運営や救援物資の受け入れ体制の構築を支援します。
  - ・医療機関や医療従事者が偏在している状況を踏まえ、広域的な災害時の医療連携が円滑に行われるよう、市村の合同医療救護訓練などを支援します。
- 地域住民に対する意識啓発
  - ・住民自ら災害に備えることが大切であることの意識啓発を行うことで、住宅の耐震化及び地震保険への加入を促進します。

### 【達成目標】

指 標 名	現 状	目 標	備 考
住宅の耐震化率 (建設部調)	80.5% (2015年度)		耐震化された住宅の割合

## 4 中山間地域の魅力向上

### 【背景】

当地域は山形村以外の中山間地域がある市村において人口が減少しており、特に麻績村、生坂村、朝日村及び筑北村では減少率が高くなっています。地域に暮らす誰もが豊かさを実感できる地域とするためには、中山間地域の振興を図ることが重要となっています。

### 【取組内容】

#### ● 農業振興

- ・地域農業の再生を図るため、地域の特色を活かした農産物であるブドウ、レタス等の生産・販売を促進します。
- ・活気ある地域づくりを行うため、農業活性化施設の整備等による住民自ら行う特産品の加工・販売や開発等の取組を支援します。
- ・地域の農業者及び地域おこし協力隊\*員との連携による農作業を担う受託組織などの設立・運営を支援します。

#### ● 林業振興

- ・松本地域の主要樹種であるカラマツ・アカマツの住宅への利用等を促進します。
- ・松本地域を中心に生産されている良質なコンテナ苗\*木を県下全域に供給し、本県の森林施業の効率化・低コスト化に寄与するため、その生産に係る技術改良を進めます。
- ・危険な松くい虫枯損木を伐採し、被害材を木質バイオマス燃料として有効活用する取組を推進します。

#### ● スポーツ振興

- ・スポーツによる地域振興を図るため、ラフティング、パラグライダーなどのアウトドア活動を活かした取組及びスポーツ合宿の誘致などスポーツ施設を活かした取組を支援します。

#### ● 働く場の提供等の取組

- ・テレワーク\*による働く場の提供に係る取組を支援します。
- ・地域の文化遺産を活かして、その歴史などを学び、観光振興につなげていく住民の取組を支援します。

### 【達成目標】

指標名	現状	目標	備考
荒廃農地解消面積 (農政部調)	300ha (2012年～2016年の累計)		荒廃農地を作付け農地に戻した面積
素材(木材)生産量 木材統計(林務部)	35,000 m <sup>3</sup> (2016年)		建築・チップ用等に使用される木材(丸太等)の生産量